

平成14年度 畑作関係除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成14年度畑作関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成14年12月9日(月)～10日(火)、池之端文化センターにおいて開催された。

本年度供試された畑作関係除草剤は作用性試験5剤、適用性試験18剤で、生育調節剤は作用性試験

3剤、適用性試験3剤であった。

このうち適用性試験については、慎重に試験成績を検討し、実用化についての判定を行った。

その結果は、次表のとおりである。

平成14年度 畑作関係除草剤・生育調節剤中央判定および使用基準

A. 除草剤

薬剤名	作物名	判定	使用基準					使用上の注意	継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 /10a	適用土壌		
1. AVH-001 乳剤 エトフメート 10% フェンデメト 8.2% デスメト 6.4%	てんさい (移植)	実	一年生雑 草全般	茎葉	活着後 雑草発生揃 期	350～450 mL 〈水量 60～80L〉	全土壌	1) タデ、ヒメには、低薬量で 効果の劣る場合がある。	
	てんさい (直播)	継							・効果、薬害の 再確認
2. DPX-16 顆粒水和剤 チフェンスメチル 75%	こんにゃく	継							・効果、薬害の 再確認
5. KUH-901 乳剤 ベンチカブ 50% リニロン 7.5% ベンデメタリン 5%	落花生	実	一年生雑 草全般	土壌	播種後 雑草発生前	500～700 mL 〈水量 100L〉	全土壌 (砂土を 除く)		
6. KUH-901 細粒剤 ベンチカブ 8% リニロン 1.2% ベンデメタリン 0.8%	大豆	実 (従来 通り)	一年生雑 草全般	土壌	播種後 雑草発生前	4～5kg	全土壌 (砂土を 除く)	1) 北海道を除く 2) 砕土、覆土、整地はて いねいに行い、均一に 散布する。	
7. MON-96A 液剤 グリホサート・エチオン塩 41%	大豆	実・ 継	一年生雑 草全般	茎葉	耕起10日以 前 雑草生 育期(草丈 30cm以下)	250～500 mL 〈水量25 ～100L〉	全土壌	1) 北海道を除く 2) 少水量散布(25～50L) の場合は専用ノズルを使用 する。	
					播種後出芽 前 雑草生 育期(草丈 30cm以下)	250～500 mL 〈水量 50L〉		1) 北海道を除く 2) 大豆の発芽開始後は、 薬剤が直接触れると薬 害が発生することがあ るので注意する。 3) 専用ノズルを使用する。	・散布水量の検 討 ・処理時期の拡 大

注) _____ は拡大された部分、..... は拡大部分が含まれることを示す
薬剤名の _____ は新たに使用基準が作成された薬剤である

A. 除草剤 つづき

薬剤名	作物名	判定	使用基準						継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 /10a	適用土壌	使用上の注意	
7. MON-96A 液剤 つづき (グリハ サート耐 性)	大豆	実・ 継	一年生雑 草全般	茎葉	大豆2～5葉 期(雑草生 育期)	250mL <水量25 ～100L>	全土壌	1) 北海道を除く 2) 雑草量が多いときや、 雑草の生育が早いとき は、早めに処理をす る。 3) 少量散布(25～50L) の場合は専用ノズルを使 用する。	・ 散布水量と効 果の確認
	飼料用 とうも ろこし	継							・ 効果、薬害の 再確認
8. NBA-961 顆粒水和剤 タミロン 70%	てんさ い (移植)	実 (従 来通 り)	一年生広 葉雑草	茎葉	活着後 雑 草発生始～ 揃期	400～600 g <水量50 ～100L>	全土壌 (砂土を 除く)	1) 非イオン系展着剤を加 用する。	
9. NH-9301 7077ノル剤 ピラフルフェニル 2%	こんに やく	実	一年生広 葉雑草	茎葉	萌芽前 広 葉雑草2～4 葉期	50～100 mL <水量 100L>	全土壌	1) 広葉雑草優占圃場で使 用する。 2) 体系処理；イネ科雑草 対象除草剤を使用す る。	
10. NM-536 粒剤 ジメナミド 1.6% リニロン 1.4%	大豆	継							・ 効果、薬害の 再確認
11. NP-61 乳剤 テブクロキシム 10%	てんさ い	実	一年生イ ネ科雑草 及び多年 生イネ科 雑草	茎葉	イネ科雑草 3～5葉期	75～100 mL <水量 100L>	全土壌	1) イネ科雑草優占圃場で 使用する。 2) 体系処理；広葉雑草対 象除草剤を使用する。	
12. S-482 顆粒水和剤 フルミタサジン 50%	大豆	継							・ 効果、薬害の 再確認
13. S-604 乳剤 クレトジム 23%	大豆	実・ 継 (従 来通 り)	一年生イ ネ科雑草	茎葉	イネ科雑草 3～5葉期	35～50mL <水量 100L>	全土壌	1) イネ科雑草優占圃場で 使用する。 2) 体系処理；広葉雑草対 象除草剤を使用する。	・ スズメノカタビラに 対する薬量と 効果の確認

A. 除草剤 つづき

薬剤名	作物名	判定	使 用 基 準					使用上の注意	継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 /10a	適用土壌		
13. S-604 乳剤 つづき	小豆	実・継 (従来通り)	一年生イネ科雑草	茎葉	イネ科雑草 3～5葉期	35～50mL ＜水量 100L＞	全土壌	1) 北海道のみ 2) イネ科雑草優占圃場で使用する。 3) 体系処理；広葉雑草対象除草剤を使用する。	・スルメノカビに 対する薬量と 効果の確認
	菜豆	実・継 (従来通り)	一年生イネ科雑草	茎葉	イネ科雑草 3～5葉期	35～50mL ＜水量 100L＞	全土壌	1) 北海道のみ 2) イネ科雑草優占圃場で使用する。 3) 体系処理；広葉雑草対象除草剤を使用する。	・スルメノカビに 対する薬量と 効果の確認
14. SYJ-103 フロアブル剤 メトリオン 100g/L	とうもろこし 飼料用 とうもろこし	継							・処理時期と適用 草種の検討
15. YF-65L 液剤 ジクワットジプロメト 7% バウコートジクロリト 5%	大豆	実	一年生雑草全般	茎葉	播種後出芽前 雑草生育期（草丈 20cm以下）	600～ 1000mL ＜水量 100L＞	全土壌	1) 北海道を除く 2) 大豆の発芽開始後は、 薬剤が直接触れると薬 害が発生することがあ るので注意する。 3) イネ科雑草多発圃場 では効果が劣る場合がある。	
16. ZK-122 液剤 グリホサートカリウム塩 43%	大豆	実・継	一年生雑草全般	茎葉	播種後出芽前 雑草生育期（草丈 30cm以下）	250～500 mL ＜水量50 ～100L＞	全土壌	1) 北海道を除く 2) 大豆の発芽開始後は、 薬剤が直接触れると薬 害が発生することがあ るので注意する。 3) 少水量散布（50L）の 場合は専用ノズルを使用 する。	・低薬量、低水 量での効果の 確認
17. レナシ・PAC 水和剤 レナシ 40% PAC 30%	てんさい (移植)	実・継 (従来通り)	一年生雑草全般	茎葉兼 土壌	定植活着 後、中耕後 (雑草発生 始期)	200～300 g ＜水量 100L＞	全土壌		・散布水量50L/ 10aでの効果 の確認

A. 除草剤 つづき

薬剤名	作物名	判定	使用基準						継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 /10a	適用土壌	使用上の注意	
18. フェンメデ イファム ロアフル剤 + NBA- 961 顆粒水和剤 フェンメデ イファム 14.5% メタミロン 70%	てんさい (移植)	継							・効果、葉害の 再確認
19. MW-851 液剤 ビアラホス 18%	大豆	実・継 (従来通り)	一年生雑 草全般	茎葉	耕起10日以 前 雑草生 育期	300~500 mL <水量100 ~150L>	全土壌	1) 北海道を除く 2) 周辺作物に飛散しない ように散布する。	・畦間処理の検 討
20. 2,4PA 液剤 2,4PA 49.5%	さとう きび (夏植)	実・継	一年生及 び多年生 広葉雑草	茎葉	雑草生育初 期	350~500 mL <水量 100L>	全土壌		・処理時期と効 果の確認

B. 生育調節剤

薬剤名	作物名	試験目的	判定	実用化に対する 処理方法	継続の内容
1. F-8426 乳剤 カルフェントラツォニル 21.5%	ばれいしょ	[作用性] 茎葉枯凋促進効果および品質 への影響	—		・適用性試験にて検討
2. NH-611 乳剤 ビラフルフェンエチル 0.4%	ばれいしょ	[作用性・適用性] 茎葉枯凋促進効果および品 質への影響 (茎葉繁茂期 2 回 処理)	実・継 (従来 通り)	[茎葉枯凋促進効果] ・茎葉黄変期 250~450mL/10a <水量100L/10a> 茎葉処理 北海道	・茎葉繁茂期 2 回処理 の効果、葉害の再確 認
3. S-482 顆粒水和剤 フルミタサジン 50%	ばれいしょ	[適用性] 茎葉枯凋促進効果および品質 への影響	継		・効果、葉害の再確認
4. SDK-001 液剤 ネトサ 7%	ばれいしょ	[作用性] 増収および品質向上	—		・作用性試験にて再検 討
5. TNZ-303 液剤 TS-303 (7-ラシノステロ イド) 30ppm PDJ (7-ロビト ロジ + ス テロ) 30ppm	ばれいしょ (秋作)	[適用性 (13 年度分)] 萌芽促進、生育促進による増 収	継		・効果の再確認